

更新申請手引き

この手引きはあなたの日本学校教育相談学会認定『学校カウンセラー』更新がスムーズにゆくためのマニュアルです。

日本学校教育相談学会認定「学校カウンセラー」は5年ごとの更新が必要です。これは学校カウンセラーが資質を維持していくために必要な実践・研究・研修を続けていることを確認するためのものです。

2016（平成28）年度より学校カウンセラースーパーバイザーによるスーパービジョン制度ができましたのでご活用ください。

◆ お渡しした書類は全部で4部です。

内訳は次の通りです。

更新申請書	（様式－1）	相談実践証明書	（様式－2）
相談研究証明書	（様式－3）	相談研修証明書	（様式－4）

更新申請書類の書き方（同封の書類に直接ご記入頂くか、同様の形式にワープロでご記入下さい。）

【更新申請書】（様式－1）

- (1) 申請者氏名（自筆署名）は必ずご本人がご署名下さい。
- (2) 写真添付欄には、縦3cm・横2.5cmの大きさのものをお貼りください。更新された後に登録証明書（IDカード）に使用します。
- (3) 経歴等について
 - ・学歴については最終学歴のみお書き下さい。
 - ・長期研修歴

教師になってからの教育相談・生徒指導・心理学（カウンセリング・臨床心理学等）についての長期（おおむね6ヶ月以上）の研修をお書きください。

内地留学（海外留学）研修センターの長期研修など学校現場を離れた研修を指します。勤務時間中の研修や土曜日曜の研修、夜間の研修は除きます。

・取得資格

カウンセリグ、臨床心理学、教育心理学等の資格を指します。

『臨床心理士』・『学校心理士』・『産業カウンセラー』・『教育カウンセラー』・『応用心理士』
『日本カウンセリング学会カウンセラー』 等

・臨床経験

公立・私立の教育センター・教育研究所・教育相談所や心理クリニックなどでの教育相談や心理療法の経験を言います。電話相談、適応指導学級やスクールカウンセラーなどもお書き下さい。1週間のうち何日程度、何年かもお書き下さい。

※ なお経歴等は更新の資料だけでなく将来の資格の資料にもしたいと思しますのでお書き下さい。

・更新ポイント

様式－2～4の3領域についてのポイント数とその合計をお書き下さい。

各領域の最低ポイント数は5ポイント、合計ポイント数は30ポイント以上になります。

※ 更新の申請は自己申告が原則です。添付書類が不十分の場合でもその理由が明確な場合は更新されますので、あきらめずに申請して下さい。

【相談実践証明書】（様式－2）

学校カウンセリングの実践活動（認定取得後 5 年間：平成 26 年度から 30 年度の実績をお書き下さい。）実践活動とは次のものを指します。

- （Ⅰ）相談機関等における児童生徒等へのカウンセリング面接及びコンサルテーション。
- （Ⅱ）学校内における生徒指導・教育相談の面接等による指導援助の実践活動。
- （Ⅲ）学会・学会支部等における役員としての実践活動。
- （Ⅳ）学校内におけるその他の学校教育相談の実践活動。
- （Ⅴ）その他の学校教育相談の実践活動。

【ポイントを取得するためには、証明書あるいは実践記録の提出を必要とします。】

【用紙が不足の場合は必要に応じてコピーする等してお使い下さい。】

【証明は別紙を張り付けてもかまいません。】

（Ⅰ）相談機関等でカウンセリング活動を継続して行った場合

- （1）毎週 2 日以上の実践を行った場合 1 年間を 3 ポイントとして計算する
- （2）毎月 2 日（年間 20 日）以上行った場合 1 年間を 1 ポイントとして計算する

※ 公立・私立の教育センター、教育研究所あるいは心理クリニック・電話相談機関等での実践をお書き下さい。スクールカウンセラー、スクールアドバイザー、こころの教室相談員、さわやか相談員、適応指導教室指導員、特別支援教育専門家チームなど通常の教育活動以外でのカウンセリング活動を指します。（校内での活動は（Ⅱ）に記入してください。）

【例】

年 度	実践機関名	職 名	実 践	ポ イ ント
平成〇〇年～〇〇年（2 年間）	〇〇県立総合教育センター相談部指導主事		週 5 日	6
平成〇〇年	△△市立少年補導センター非常勤相談員		年間 24 日	1

（Ⅱ）学校内で学校カウンセリング活動を、継続して行っていた場合

- （1）教育相談主任、生徒指導主事等として活動した場合 1 年間を 2 ポイントとして計算する
- （2）養護教諭として活動した場合 1 年間を 2 ポイントとして計算する
- （3）障害児通級教室担当者として活動した場合 1 年間を 2 ポイントとして計算する

※ 学校内での教育相談活動を指します。

【例】

年 度	勤務学校名	職 名	実 践	ポ イ ント
平成〇〇年～〇〇年（5 年間）	〇〇町立□□中学校	生徒指導部 相談係	主任	10
平成〇〇年～〇〇年（2 年間）	△△県立□□高校	養護教諭 相談係		4

（Ⅲ）学会・学会支部等において役員などとして活動している場合

- （1）学校教育相談の普及・啓発についての実践活動 1 年間を 1 ポイントとして計算する

※ 本学会の役員、あるいは支部の役員についてお書き下さい。

（Ⅳ）校内において、その他の実践活動（カウンセリングを生かした学校経営・学級経営等）を行った場合

- （1）その他の学校教育相談の活動 実践記録 1 件につき 2 ポイントとして計算する
- （2）特別支援教育コーディネーター 1 年間を 2 ポイントとして計算する

※ 相談係・養護教諭等直接学校教育相談活動は行わなかったが、学級経営や学校経営等に学校教育相談の考え方や手法（SGE、ロールプレイングを用いた学級経営、心理検査や各種調査を通しての教育実践、校内体制や教育方法・教育評価を用いた学校運営等）を用いた場合を指します。実践記録を添えて申請下さい。

（Ⅴ）その他の実践活動については別途考慮する。

※ 上記以外に学校教育相談について、あなたが実践したものについてお書き下さい。適切な実践と認められたものについてはポイントを認めます。

【相談研究証明書】（様式－3）

認定取得後 5 年間の学校カウンセリングの研究活動についてお書き下さい。

研究とは、各領域における研究大会（総会）における研究発表や研究紀要等への執筆ならびに大会への参加を指します。この場合内容が明らかになるもの（発表要旨・参加プログラム等のコピー等）の提出を必要とします。

※ 領域については当分の間、次によります。

- | | |
|----------|---------------------------|
| A | 日本学校教育相談学会およびその支部における活動領域 |
| B | その他の団体等における活動領域 |
- ① 学術会議に登録されている心理学・教育学などの学会
日本カウンセリング学会・日本心理臨床学会・日本教育心理学会
日本産業カウンセリング学会等
 - ② 学会支部が承認した都道府県（政令指定都市）における学会・研究会
おおむね 100 人を越す団体で、都道府県（政令指定都市）の全体に会員を要する団体を指します。
 - ③ その他、日本学校教育相談学会が認める学会・研究会、全国学校教育相談研究会等

（Ⅰ）全国規模の各種研究大会（総会）への参加と、その研究大会（総会）における研究発表等

- | | | |
|---------------------------------|------------|------------|
| (1) 研究大会への参加者 | A : 2 ポイント | B : 1 ポイント |
| (2) 研究大会での単独口頭発表者及び連名発表の筆頭者 | A : 4 ポイント | B : 2 ポイント |
| (3) 研究大会での連名発表者（筆頭者以外） | A : 3 ポイント | B : 1 ポイント |
| (4) シンポジウム等の企画者・司会者・話題提供者・指定討論者 | A : 4 ポイント | B : 2 ポイント |
| (5) 大会に伴う講演等の講師 | A : 4 ポイント | B : 2 ポイント |

※ 証明は当該学会への参加者証（名札）、参加費の郵便振替の控え、領収証の写しを添えて下さい。

(2) ～ (5) については当該学会の大会要項・論文集の該当するページのコピーを添えて下さい。

例

年 度	No	領域	研究大会の名称等	参加の形態	ポイント	添付書類番号
平成〇〇年度	(2)	B	日本カウンセリング学会	単独で研究発表を行った	2	

（Ⅱ）都道府県（政令指定都市を含む）規模の研究会（総会）の参加と、その研究会（総会）における研究発表等

- | | | |
|---------------------------------|------------|--------------|
| (1) 研究会への参加者 | A : 1 ポイント | B : 0.5 ポイント |
| (2) 研究会での口頭発表者 | A : 2 ポイント | B : 1 ポイント |
| (3) シンポジウム等の企画者・司会者・話題提供者・指定討論者 | A : 2 ポイント | B : 1 ポイント |
| (4) 大会に伴う講演等の講師 | A : 2 ポイント | B : 1 ポイント |

※ 証明書類については、(1) に準じますが、月例の研究会などについては、主催者（学会支部を含む）の参加証明書を添えて下さい。なお、研修会としての例会参加を除きます。

例

年 度	No	領域	研究大会の名称等	参加の形態	ポイント	添付書類番号
平成〇〇年度	(4)	A	学校教育相談学会〇〇県支部	月例会に講師として参加	2	

（Ⅲ）（Ⅰ）（Ⅱ）以外の学校カウンセリング関係の研修会、講演会、ワークショップ、グループ体験学習等（校内研修含む）への講師・ファシリテーター・トレーナー・発表者としての参加

- | | |
|------------------------------|------------|
| (1) 研修会等での発表者 | B : 1 ポイント |
| (2) 研修会等の企画者・司会者・話題提供者・指定討論者 | B : 1 ポイント |
| (3) 研修会等に伴う講演等の講師 | B : 1 ポイント |

※ 証明書類として発表資料、企画プログラム、講演資料等を添えてください。

(Ⅳ)研究紀要などのへの執筆等

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| (1) 学会・研究会の全国規模の研究紀要、研究誌等への発表 | A : 4 ポイント B : 2 ポイント |
| (2) 学会・研究会の都道府県規模の研究紀要、研究誌等への発表 | A : 2 ポイント B : 1 ポイント |
| (3) 学校カウンセリングに関する著作 | 5 ポイント |
| (4) 関係雑誌への執筆 | 1 ポイント |

※ 著作物の写しを添えて下さい。(部分でもかまいませんが本人の氏名が記載されていること)

例

年 度	No	領域	著作物の名称等等	発表の形態	ポ イント	添付書類番号
平成〇〇年度	(4)	—	雑誌『相談実践 7 月号』(△△出版)	不登校の事例を執筆	1	

【相談研修証明書】(様式-4)

認定取得後 5 年間の学校カウンセリングの研修(指導を含む)についてお書き下さい。

研修とは、学校カウンセリング関係の研修会・講演会・ワークショップ・グループ体験学習等への参加による研修を指す。研修内容が明らかとなるもの(修了証書ならびに研修プログラム等の印刷物)を必要とする。

※ 領域については当分の間、次によります。

A
B

日本学校教育相談学会およびその支部における活動領域

その他の団体等における活動領域

- ① 学術会議に登録されている心理学・教育学などの学会
日本カウンセリング学会・日本心理臨床学会・日本教育心理学会
日本産業カウンセリング学会等
- ② カウンセリング、教育相談等の研修について長年にわたり実績を有する団体として学会が認めたもの
- ③ 学会支部が承認した都道府県(政令指定都市)における団体
おおむね 100 人を越す団体で、都道府県(政令指定都市)の全体に会員を要する団体を指します。
- ④ その他、日本学校教育相談学会が認める学会・研究会
全国学校教育相談研究会等

※ 原則として当該研修会の修了証書の写しを添付して下さい。

継続して参加した場合などは、研修プログラムと参加者名簿を添付して下さい。

主催団体の参加証明書でもかまいません。

なお、同一講座で 5 時間程度の研修を 5 回受講した場合、(3)によらず(1)でポイント計算を行って下さい。

例えば、S 研究所が年間 5 時間の研修会を 5 回行いそれに参加した場合、【 $2 \times 5 = 10$ ポイント】ではなく、【3 ポイント】として計算して下さい。

(Ⅰ)全国規模の研修会等への参加(指導)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) 20 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 5 ポイント B : 3 ポイント |
| (2) 10 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 4 ポイント B : 2 ポイント |
| (3) 5 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 3 ポイント B : 2 ポイント |
| (4) 2 時間程度の研修会・講演会等 | A : 2 ポイント B : 1 ポイント |

例

年 度	No	領域	研修会の名称等	回数 時間等	ポ イント	添付書類番号
平成〇〇年度	(3)	A	日本学校教育相談学会ワークショップ	学会主催(〇〇大会)	3	

(Ⅱ)都道府県(政令指定都市を含む)規模の研修会等への参加

- | | | |
|--------------------------|------------|--------------|
| (1) 20 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 4 ポイント | B : 2 ポイント |
| (2) 10 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 3 ポイント | B : 2 ポイント |
| (3) 5 時間以上の研修会・ワークショップ等 | A : 2 ポイント | B : 1 ポイント |
| (4) 2 時間程度の研修会・講演会等 | A : 1 ポイント | B : 0.5 ポイント |

※ 証明書類については、(Ⅰ)に準じます。

例

年 度	No	領域	研修会の名称等	回数 時間等	ポ イ ント	添付書類番号
平成〇〇～〇〇年度	(1)	B	□県カウンセリング協会「カウンセリング研修会」	2.5 時間の講座 72 回	2	

(Ⅲ)海外における学校カウンセリング、またはその周辺領域の研修への参加

- | | | |
|------------------|-------------|------------|
| (1) 1 ヶ月を越える海外研修 | A : 10 ポイント | B : 8 ポイント |
| (2) 10 日程度の海外研修 | A : 6 ポイント | B : 4 ポイント |

例

年 度	No	領域	研修の名称等	備考	ポ イ ント	添付書類番号
平成〇〇年度	(2)	B	〇〇研修 (カナダ・米国 11 日間)	学会協賛研修	4	

(Ⅳ)スーパービジョン・教育分析などによる研修

- | | |
|----------------------------|--------|
| (1) 本学会スーパーバイザーによるスーパービジョン | 5 ポイント |
| (2) (1) 以外によるスーパービジョン | 3 ポイント |

(Ⅴ)大学院・大学・研究機関などでの長期研修 状況により別途考慮する

※ (Ⅲ) ～ (Ⅴ) についてはそれを証明する書類の写しを添付して下さい。

審査の進め方と更新の決定

- (1) 認定委員会としては、更新はどなたでも日常、学校教育活動をなさっていれば無理なくポイントを取得でき得る範囲で更新規定を作成しました。
更新は自己申告が中心になります。書類が整わないからと諦めず申請して下さい。
- (2) 更新の審査は『書類審査』です。更新審査料は 10,000 円です。
書類が不備の場合は、証明書などについて問い合わせのご連絡を差し上げます。その際、再提出をお願いすることがあります。
- (3) 更新の決定は 3 月中旬まで通知いたします。
認定委員会より会長に更新審査結果を報告し、承認の後にご連絡いたします。
- (4) 更新決定の通知を受けた後に、更新料 20,000 円をお払い込み下さい。
- (5) 更新料は今後 5 年間の学校カウンセラーの研修や連携に使用するとともに、学校カウンセラーの社会的地位の確保・向上のために使われます。
- (6) 更新料の払い込みが確認された段階で新たな『学校カウンセラー登録証明書 (ID カード)』を郵送いたします。また、名簿に記載し関係各方面に通知いたします。

日本学校教育相談学会認定委員会事務局

〒320-0857 宇都宮市鶴田 2-1-8 ムギショウビル 2F
栃木県カウンセリングセンター内
TEL028-647-1717 Fax028-649-1213